



高時小だより

<教育理念>

— 高く・強く・美しく —

長浜市立高時小学校

【令和5年3月1日発行NO. 11】

HP : <http://takatoki-es.nagahama.ed.jp/wordpress/>

他校との教科のオンライン合同授業を実施しました

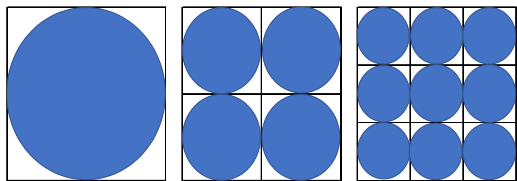
校長 宮野 武史

ICT（Information and Communication Technology 情報通信技術）教育充実のため、児童のタブレット一人一端末、各教室の大型モニター、Wi-Fi ネットワークが整備され、学校と校外施設・家庭をオンラインで結ぶことができ、学びの形が多様化してきました。そこで本校では、教科の授業以外にも、観音様の学習、地域学習、総合的な学習での他校との交流、学校欠席者への授業ライブ配信・オンラインでの個人指導などで活用してきました。

今回、6年生において、教科の学習で他校と合同授業をする計画を立て、実施しました。1単元の数時間を通しての合同授業の実施は時間の調整が難しいため、まずは、1時間で完結する授業を行いました。

<2月13日：伊香貝小学校と算数の授業での交流>

同じ大きさの箱の中に、円形のL・M・S3種類のピザが入っています。どの箱を選ぶのが得でしょうか。



算数は6年間の総復習の時間で、左のような課題に取り組みました。

少人数のクラスでは、課題に対して多様な考え方が出されにくいと一般的に言われるため、今回「思考力を求められる課題」で合同授業を実施しました。

児童は、5年生の校外学習、6年生の修学旅行で交流してきたので、緊張感はないだろうと思われたのですが、オンラインで授業を一緒に受けるのは初めてのため、お互い遠慮して声を発するまでに時間がかかりました。また、自分の考え方を説明することにおいても、目の前に人がいないので、自分の説明がモニターの向こうの相手にどこまで伝わっているのかを把握できないことに気づきました。今回の合同授業を実施することにより、単なる発表の交流会とは異なり、教科の授業では、機器の扱い方、進め方のペース配分など、教師側にも想定外の課題が見つかりました。今後の改善につなげていきたいと思います。参考までに、課題の答えは「どれも同じ面積」です。

<2月17日：木之本小学校と英語の授業での交流>



「6年間の思い出ベスト3」を写真や絵を提示しながら、英語と日本語を組み合わせで紹介し合いました。木之本小学校の児童とは今まで行事等で交流したことがなかったのですが、あらかじめ発表内容が決まっていたので、落ち着いて発表をすることができました。今回は大型モニターを2台準備し、自分たちが発表している画面と相手の教室の様子を同時に見られるようにしました。そのおかげで、常に2校が同じ空間にいるような気分になりました。参考までに、高時小のベスト3は、①茶道体験学習、②環境学習（オオサンショウウオの学習）、③クラブ活動の立案・実施でした。

3月



1日（水）読み聞かせ放送（給食時）
字会（5校時）

新登校班・班長決定

2日（木）体重測定

3日（金）大掃除

7日（火）4年豊栄小学校（広島県）
とのオンライン交流学习

学校運営協議会 19:00～

8日（水）読み聞かせ放送（給食時）

14日（火）学区内協議会 18:45～

17日（金）卒業式

24日（金）修了式

★行事については、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、内容の変更、延期、中止等になる場合があります。ご理解をお願いします。

<3年生クラブ活動見学>

2月4日（月）、3年生はクラブ活動見学を行いました。現在本校には、「高時伝説クラブ」「楽しクラフトクラブ」「リフレッシュ運動クラブ」の3つのクラブがあり、4～6年生が活動しています。3年生は教室でクラブ活動について説明を聞いた後、3つのクラブを順番に周り、話を聞いたり、体験をしたりしました。「あれもやりたい。これもやりたい。どうしよう。」と声が聞こえてきました。4年生になると、クラブ活動と委員会活動が新たに始まります。3年生児童は「いよいよ自分たちは上学年の仲間入りだ」という気持ちを高めていました。また、5年生は、「自分たちがリーダーになって、高時小学校をリードしていく時が来たんだ」と責任を実感していました。次年度どのようなクラブを作るのかは、4月になってから、児童の提案により決まります。



<6年生茶道体験のまとめ>

6年生の小学校での茶道体験は、2月4日（月）で最後となり、「卒業お祝い茶会」を残すのみとなりました。「今日は今までの茶道体験の総まとめのテストのような日です。」と校長先生から言われ、緊張感は高まりました。新型コロナウイルス感染症予防のために、いろいろと制限を受けて学習をしてきましたが、流れるような袱紗のさばき、リズムカルな茶筴の動き、お茶をいただく作法は申し分なく、学習の成果を発揮することができました。次回の「卒業お祝い茶会」には、茶道体験を通して学んで来たことをしっかり振り返り、感謝と「和敬清寂」の心で望めるとよいです。



<6年生卒業記念制作>

本校では書教育にも力を入れており、講師の先生をお迎えして、毎週練習に励んでいます。その結果、多くの書展においてたくさんの作品が入賞をしています。

その書の学習のまとめとして、画仙紙と呼ばれる大きな紙に、筆先が20 cmほどの大きな筆で、漢字1文字を書きました。その文字には、6年間の思い出、これからの希望や夢が込められています。



卒業式の日には、式場の壁面に掲示します。卒業生はその文字を心の中にしっかりと刻み込んで、中学校へと羽ばたいてくれることでしょう。

小学校の中は、いよいよ卒業を祝うムード一色に染まってきました。6年生のために、一生懸命に準備や練習に励む在校生の姿を見ると、6年生の存在の大きさを、改めて感じずにはられません。